令和４年度地区懇談会（幌別鉄南、札内・来馬、中央）会議次第

令和４年１０月６日（木）　１８時００分～　　鉄南ふれあいセンター

１．開 会

２．市民憲章唱和　……　裏表紙に掲載

３．地区連合町内会長あいさつ

・幌別鉄南地区連合町内会

・札内・来馬地区連合町内会

・中央地区連合町内会

４．市からの情報提供事項　説　明

（資料１）北海道太平洋沿岸における津波被害想定について……１ページ　総務部

（資料２）オミクロン株対応ワクチンの接種を受けましょう……５ページ

（資料３）除雪作業にご理解とご協力を……７ページ

（資料４）道路の異常をお知らせください……８ページ

（資料５）のぼりべつ・クリーン＆フレッシュ事業……９ページ

（資料６）消防指令業務の共同運用について……１０ページ　消防本部

５．市役所新庁舎の建設及び現庁舎の跡地利用について　総務部

６．登別市・白老町　令和１２年度以降のごみ処理施設について……１１ページ　市民生活部

７．地域の共通課題についての懇談

・幌別鉄南地区連合町内会

（１）幸町のすずらんの家の前に放置されている廃棄物の処理について

……１８ページ　市民生活部

（２）防災ハンドマイクの購入費の助成について……１９ページ　総務部

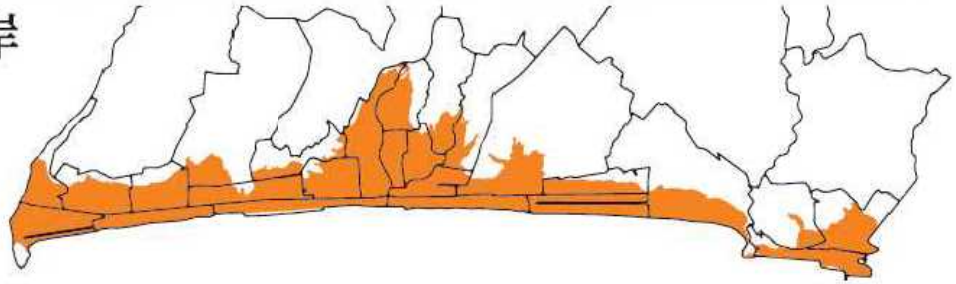
８．市長あいさつ

９．閉 会（ 19時15分 ）

資料１

北海道太平洋沿岸における津波被害想定について

北海道が作成した北海道太平洋沿岸の津波の被害想定を紹介します。



北海道が想定する登別市の津波は、最大クラスで12メートルになります。

被害想定の前提条件

今回発表された被害想定は、津波被害を**避難行動**から**2つ**、**季節・時間帯**から**3つ**の条件で想定しています。

避難行動

早期避難率が低い

素早く避難する人が少なく、津波情報の伝達や避難の呼び掛けが効率的に行われなかった場合

早期避難率が高い

素早く避難する人が多く、津波情報の伝達や避難の呼び掛けが効率的に行われた場合

季節・時間帯

- 明るい時間帯のため、迅速な避難が可能となり、津波による被害が少なくなる時期・時間帯
- １日の中で木造建築物の中にいる人数が少ない時間帯のため、建物倒壊などによる被害が少なくなると想定されます

- 積雪・凍結により避難速度が低下するため、津波による被害が多くなる時期・時間帯
- 火気使用が最も多い時間帯のため、地震に伴う出火・延焼による被害が想定されます。

- 夜間の暗闇や積雪・凍結により避難速度が低下するため、避難が遅れ、津波による被害が多くなる時期・時間帯
- 多くの人が自宅で就寝している時間帯のため、避難準備に時間がかかり、避難行動が遅くなると想定されます。

避難行動と季節・時間帯の組み合わせにより、被害想定は大きく変化します。

●避難行動が遅い（早期避難率が低い）場合の被害想定

避難行動別	割合
すぐに避難する人	20パーセント
少しして避難する人	50パーセント
差し迫ってから避難、または避難しない人	30パーセント

被害は…

季節・時間帯	建物被害（全壊棟数）		人的被害（死者数）
	液状化による被害	津波による被害	
夏・昼	320カ所	14,000棟	10,000人
冬・夕方			16,000人
冬・深夜			20,000人

●避難行動が早い（早期避難率が高い）場合の被害想定

避難行動別	割合
すぐに避難する人	70パーセント
少しして避難する人	30パーセント
差し迫ってから避難、または避難しない人	0パーセント

被害は…

季節・時間帯	建物被害（全壊棟数）		人的被害（死者数）
	液状化による被害	津波による被害	
夏・昼	320カ所	14,000棟	610人
冬・夕方			3,900人
冬・深夜			7,700人

冬の深夜における早期避難率が20%の場合、20,000人の死者数の想定ですが、70%まで高くすると7,700人となり、12,300人の人的被害を減らすことができます。
また、避難の呼びかけ等により、早期避難率を高くすることで、さらに人的被害を減らすことができます。

巨大地震や最大クラスの津波に備えて

○市の取り組み

巨大地震に伴う最大クラスの津波の場合、住民などの避難を軸として、土地利用や避難施設、防災施設の活用などを組み合わせて取りうる手段を尽くす、総合的な津波対策の確立が必要です。

市は、津波による被害を軽減させるため、次のような取り組みを実施します。

- 新たな津波災害警戒区域や指定緊急避難場所（津波避難ビルを含む）を反映した防災マップ（Web（ウェブ）版を含む）の周知
- 新たな津波浸水想定に係る町内会等の研修会や訓練等の実施
- 社会福祉施設・教育施設・医療施設の避難確保計画の策定の推進
- 要配慮者に対する個別避難計画の推進
- 災害拠点としての市役所本庁舎、消防本部本庁舎の建設

◀防災マップ

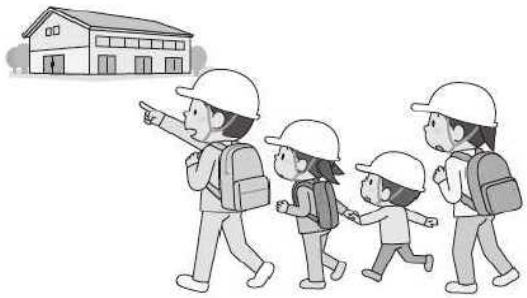
○災害から命を守るために

北海道が作成した被害想定を見ると、一人一人の避難意識と行動により人的被害を大きく減らすことができるということがわかります。

大きな地震が発生したときは、「自分は大丈夫だろう」などと考えず、すぐに避難行動を始めてください。それが自分や周りの人の命を守ることにつながります。

また、防災グッズの準備、避難場所の確認など、いざというときのための備えも大切です。

災害はいつ起きるかわかりません。命を守る行動をお願いします。



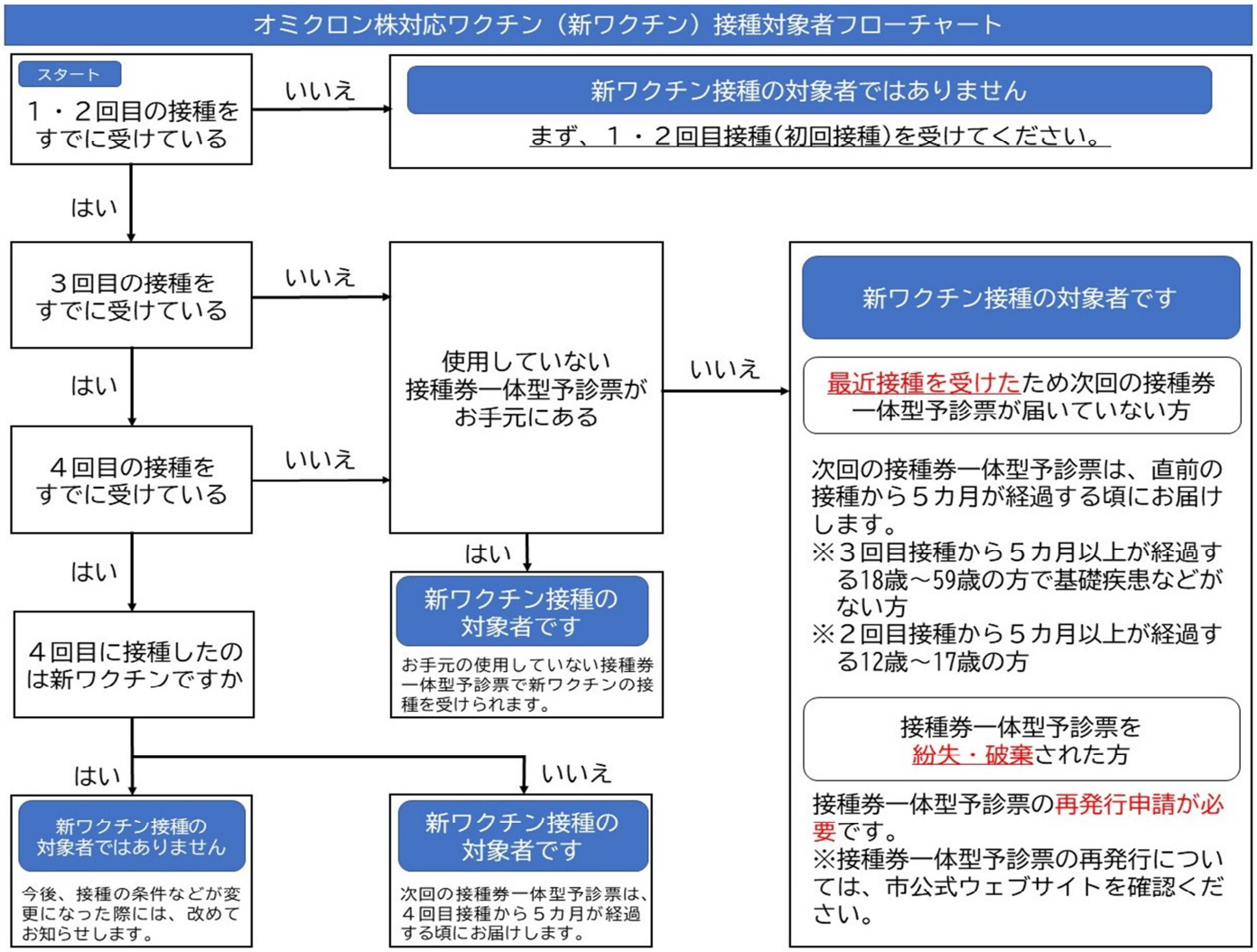
オミクロン株対応ワクチンの接種を受けましょう

市では、10月１日から、２回目までの接種を終えた12歳以上の方を対象に新型コロナワクチン（オミクロン株対応ワクチン）による接種を始めています。

オミクロン株対応ワクチンは、新型コロナウイルスの従来株とオミクロン株（現在、主流になっている変異株）に対応する２価ワクチンで、新型コロナウイルス感染症の重症化予防などが期待されます。

お手元に３回目接種以降の接種券一体型予診票をお持ちの方は、早めの接種を検討ください。

なお、市予約ウェブサイトを利用しての予約が難しい方などには、これまで同様、電話などによる予約取得のお手伝いをします。



新型コロナワクチン接種は予約が必要です

～接種券一体型予診票が届いたら、ご予約ください～

◇予約方法

●インターネットでの予約（24時間）
https://vaccines.sciseed.jp/noboribetsu
※初回ログイン時のパスワードは(生年月日を西暦での8桁です。 例)1970 年1月1日生まれの場合⇒ 19700101

●市コールセンターでの予約（８時～20時（土・日、祝日も対応））
0570－035－056(有料)

●医療機関が独自に設置した予約専用の電話など

▲インターネット予約

裏面に続きます

◇集団接種（原則ファイザー社製ワクチン）

※受付時間　木・土曜日は15時～18時。日曜日は10時～13時、15時～18時。

●登別中央ショッピングセンター・アーニス

月	日　程	備考
10 月	8日(土)、 9日(日)、15 日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、27日(木)、29日(土)、30日(日)	※10 月 27 日、11 月 10 日、11 月 17 日はモデルナ社製を使用。
11月	5日(土)、 6日(日)、10日(木)、12日(土)、13日(日)、17日(木)、26日(土)、27日(日)	
12月	17日(土)、18日(日)	

●鷲別コミュニティセンター　12月３日（土）・12月４日（日）

●市民会館　12月24日（土）・12月25日（日）

※１月以降の日程は改めてお知らせします。

◇個別接種（ファイザー社製ワクチン・15歳以下は保護者同伴必須）

接種医療機関	予約の条件など	予約受付日時		予約先
JCHO登別病院 登別東町 3-10-22	4回目相当の12歳以上対象 ※当院でコロナワクチン接種歴・定期通院患者優先	・市コールセンター（8時～20 時） ・インターネット予約（24時間対応）		
開田医院 中央町 5-4-3 ※10月3日～14 日まで ※12月から接種再開予定	4回目相当の18歳以上対象 ※当院でコロナワクチン接種歴・定期通院患者優先			
恵愛病院 鷲別町 2-31-1	3・4回目相当の12歳以上対象			
三愛病院 中登別町 24-12	4回目相当の18歳以上対象			
登別記念病院 中央町 1-1-4	4回目相当の12歳以上対象			
登別東クリニック 登別東町2－15－35	4回目相当の18歳以上対象			
いしはら小児科 若山町 3-12-34	3・4回目相当の12歳以上対象			
伊丹腎クリニック 若山町 4-43-2	3・4回目相当の12歳以上対象	月～金	9:00～16:00	080-5626-4322
内科消化器科 サンクリニック 新生町 3-11-11	4回目相当の高校生以上対象	月～金	9:30～11:30 13:00～16:30	87-3131
いわた内科クリニック 桜木町 3-2-15	3・4回目相当の15歳以上対象 ※基礎疾患保有者は不可	診療時間内 （休診日：日曜日、祝日、第2・第4土曜日）		85-5522

＜定期通院患者限定＞

接種医療機関	予約の条件など	予約受付日時		予約先
あらい内科医院 若山町 4-42-5	11月から接種開始予定 15歳以上対象 ※要当院でのコロナワクチン接種歴	・市コールセンター（8時～20 時） ・インターネット予約（24時間対応）		
	11月から接種開始予定 ※定期通院患者限定	水～土	9:30～12:00 14:00～16:30	来院での受付 電話予約不可
いしまる神経内科 新生町 1-26-20	12月から接種開始予定 18歳以上（定期通院患者優先）	診療時間内		
堀尾医院 富士町 6-21-1	4回目接種実施 18歳以上（内科定期通院患者限定） ※第2月曜日は休診	月・火・水・金	9:00～11:00 14:00～16:00	
		木・土	9:00～11:00	

【問い合わせ】登別市新型コロナワクチン接種対策グループ　電話　81-2770・81-2771

〒059-0016　登別市片倉町6-9-1　総合福祉センターしんた 21 内

除雪作業にご理解とご協力を！

間口の雪処理にご協力ください。

当市の除雪は主に押し込みやかき分けによる方法で行っているため、道路を除雪した後、どうしても玄関先や車庫前に雪が残ってしまいます。この雪については、市民の皆様のご協力により、道路脇や敷地内での処理をお願いします。

道路に物を置かないでください。

車庫前の乗り入れ台や看板用のブロック等は除雪の支障となるばかりでなく、事故の原因にもなりますので、道路には絶対に置かないでください。

道路に雪を出さないでください。

除雪中や除雪後、道路脇にたまった雪や宅地内の雪を道路に出すことは除雪作業の妨げとなるだけでなく、デコボコ道をつくり、交通事故や道路障害を招く原因となります。宅地内の雪などは敷地内で処理するか、雪捨て場に運んでください。

除雪車に近づかないでください。

作業中の除雪車に近づくことは大変危険な行為です。特に、小さなお子さんのいらっしゃるご家庭は注意してください。

路上駐車はしないでください。

除雪の際に、路上に駐車車両があると、その道路の除雪を中断せざるを得ない場合があります。また、交通事故の原因となることもありますので、地域でお互いに注意しあい、路上駐車をなくしましょう。

除雪に関する問い合せ先　登別市 都市整備部 土木・公園グループ　TEL.(0143)85-3260（直通）
※土・日・祝日、夜間、年末年始 TEL.0143-85-2111（代表）

市民の皆様にご協力のお願い

道路の異常をお知らせください

道路の異常を発見された場合は、下記連絡先までご連絡ください。

スマートフォンなどで、右のＱＲコードを読み取ると
連絡フォームから簡単に連絡できます。

登別市
土木・公園G　都市整備部
道路の異常連絡フォーム

登別市 都市整備部 土木・公園グループ
（施設維持担当）電話 0143-85-3260

みんなでつくろう　ごみのないきれいなまち

～のぼりべつ・クリーン＆フレッシュ事業～

資料５

市では、市民のみなさん（２名以上のグループ）に、身近にある道路や公園・広場、河川の里親になっていただき、ボランティアで清掃や草刈・花壇づくりなどを行うアダプトプログラム『のぼりべつ・クリーン＆フレッシュ事業』を実施しております。

事業の流れ

担当者事前協議

↓

里親届出

↓

合意書締結

↓

清掃用具提供

↓

活動開始

↓

年間活動報告

①里親を募集しています

きれいなまちづくりの第１歩は、私たちのまちを私たちの手できれいにすることから始まります。まちをきれいにし、心も体もフレッシュに！！を合言葉として『のぼりべつ・クリーン＆フレッシュ事業』に参加する里親を募集しています。

アダプト（adapt）

英語で【～を養子にする】の意味で、公園や道路などの公共施設を子どもに見立て、市民や企業などが里親となり、わが子を育てるように世話（清掃・美化）をすることから命名されました。

②里親になるには

清掃・美化活動をしようと思う道路・公園・広場・河川について、市の窓口（土木・公園グループ）にご相談ください。

※２名以上のグループ（家族、町内会等、学校、商店、企業、各種団体）とします。

③お申し込み・お問い合わせは

都市整備部　土木・公園グループ　管理担当

TEL 0143-57-1077　FAX 0143-85-8286

E-mail：kanri@city.noboribetsu.lg.jp

「イメージキャラクター」

消防指令業務の共同運用について

昨年より、胆振全体（１１市町・６消防本部）での消防指令業務の共同化に向けて協議を進めていましたが、運用方式や配置する指令員数、整備費等の按分の考え方など、各消防本部間で合意に至らず、令和４年８月１日をもって検討会議が解散となりました。

この結果を受け、西胆振地域の３消防本部（室蘭市消防本部・西胆振行政事務組合消防本部・登別市消防本部）において、消防指令業務の共同化に向けた調整を進め、共同化の実現に向けた具体的な協議を進めることについて、構成する３市３町間において了解が図られたので、現在、消防本部間において具体的な協議を進めております。

【消防指令業務とは？】

１１９番通報の受信、消防車等への出動指令、無線統制等の消防・救急活動等に係る様々な情報管理を行う業務です。

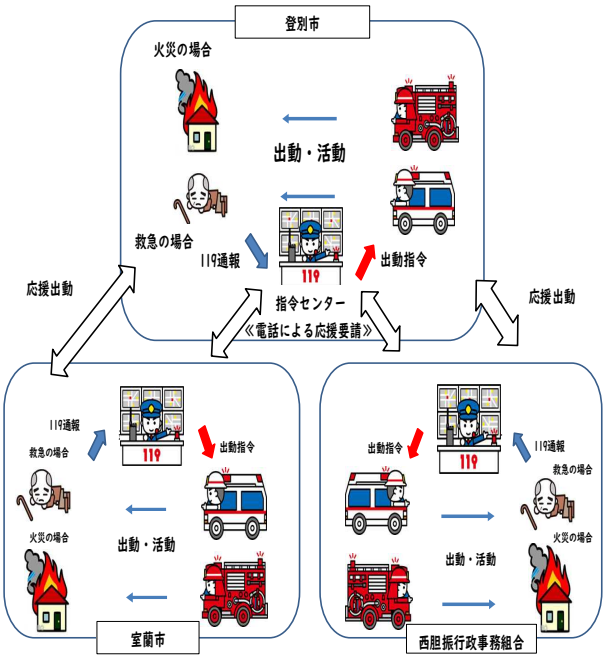
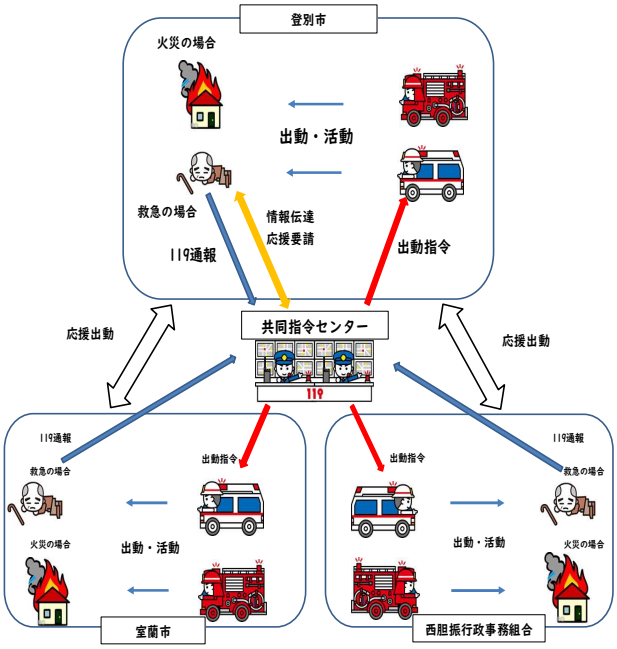
【消防指令業務の共同運用とは？】

複数の消防本部における消防指令業務を１箇所の消防指令センターにおいて共同で運用することです。

【共同運用によるメリットは？】

・災害発生状況を一元管理することにより、救急事故多発時や大規模火災発生時等において、消防本部間の応援出動が迅速に対応することが可能になります。

・消防指令センターを共同で整備することにより、整備費や維持管理費の負担を低減することが可能となります。

３消防本部単独運用イメージ（現状）	３消防本部共同運用イメージ
	
※３消防本部がそれぞれ消防指令センターで消防指令業務を行っています。	※１箇所の消防指令センターにおいて共同で消防指令業務を行います。

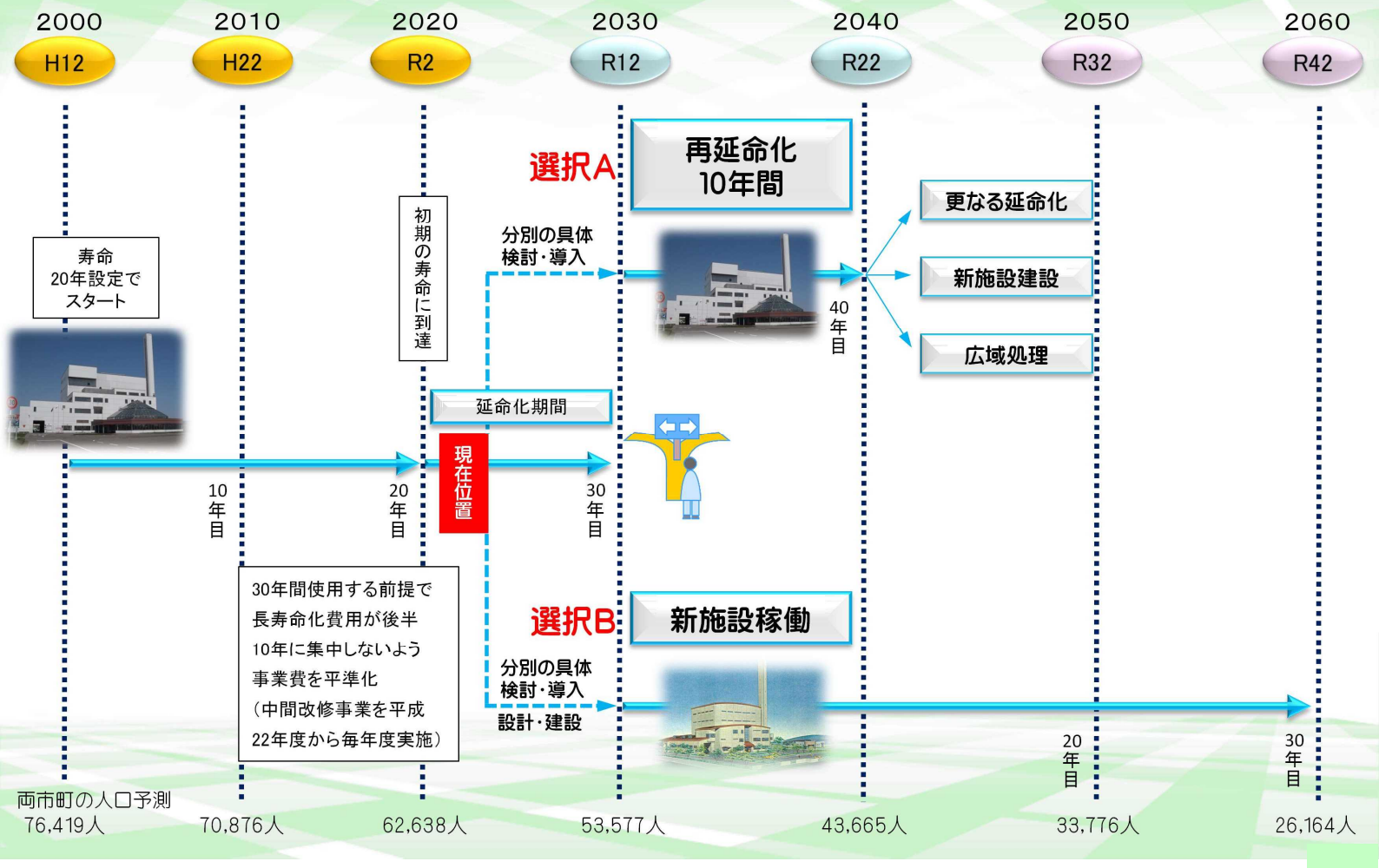
登別市・白老町
令和12年度以降の ごみ処理施設について

登別市環境対策グループ

本日のお話

- クリンクルセンターの令和12年度以降の方向性（再延命化なのか、新設なのか）について、現在検討中
- 11月には、市の方針案として、登別市議会に報告のうえ、公表する予定
- 本日は、検討内容について、現時点の状況をお知らせします

クリンクルセンターのこれまでと今後（全体像）



選択A（再延命化）と 選択B（新設）の比較

	選択A　再延命化		選択B　新　設	
課題① 廃棄物処理の安定性	さらなる長寿命化が可能	○	－	○
課題② ごみの分別（リサイクル）	・ゼロカーボンシティ達成のためにはプラスチックの分別収集が必要 ・紙類は既存の取組を強化			
課題③ 地域貢献（余熱利用）	市民プールへの熱供給を継続	○	自施設内での余熱利用を想定	△
課題④ 災害に対する強靭性	7m程度の津波には対応可	△	高台に建設した場合は津波による影響はない	○
課題⑤ ライフサイクルコスト	建設費用等の借金返済額や運転維持管理費などの合計			
	新設に比べ 10～15億円程度経済性で有利	○	－	△
課題⑥ CO2の削減	5割の削減が可能	○	6割強の削減が可能	○

課題①　廃棄物処理の安定性

選択A（再延命化）

☑ クリンクルセンターは、稼働から21年が経過しているが、日常の定期整備や、計画的に適時適確な延命化対策を行っていることで、**安定した稼働が継続されている。**

☑ 令和3年度に焼却処理施設・破砕処理施設・資源化施設・建屋の**診断調査を行い、健全度を評価。**

↓

クリンクルセンターは、さらなる **長寿命化が可能** と評価

↓

設備・機器の耐用年数や劣化状況等を踏まえ、延命化工事を実施することで、各設備の機能維持を図る

課題②-1　ごみの分別（リサイクル）

町内会・各種団体との意見交換（延166名の参加）の結果

	代表的な意見
ごみ分別への前向きな意見	若い人達のためにも、クリンクルセンターの焼却の在り方のためには、手間ひまがかかるが生ごみとプラスチックの分別をすることが、将来的に登別を持続していくためにも、私たちに課されていることだと思っている。
	高齢化社会の中では、多くの分別をすることは難しいと思う。どこまでならできるかと考えると、せいぜいプラスチックくらいではないか。
	生ごみは市民の選択肢を増やすような方法をとるのがよいのではないか。コンポストを選ぶ、または生ごみ処理機を選ぶなど、これに市が補助金を出せば、生ごみの量を減らせるのではないか。
生ごみの分別への反対意見	市民に負担をかけないような分別にしてもらいたい。生ごみの分別収集は、カラスが来たり、臭いもするので、「ごみステーションの置き場」の問題が出てくる。今でも町内会はステーションの置き場に困っている。生ごみの分別は環境が悪くなるので、絶対にしないでほしい。
	現状で基本的な分別もできていなく、苦労している状態なのに、さらに生ごみを分別するというのは難しい。細かく分別できることは理想だが現実的に難しい。
	生ごみは衛生面でごみステーションの管理が大変。今と同じように可燃ごみで収集がよい。ごみステーションの近くに住む人は、生ごみの汁などで嫌がる。

課題②-2　ごみの分別（リサイクル）

道央・道南の主な都市のごみ分別事例（拠点回収のみも含む）

	①可燃	②不燃	③びん	④缶	⑤ペットボトル	⑥危険（有害ごみ）	⑦紙類（一部実施も含める）	⑧プラスチック製容器包装	⑨生ごみ	⑩古着・古布類
登別市	○	○	○	○	○	○				
室蘭市	○	○	○	○	○	○	○			
伊達市	○	○	○	○	○	○	○		○	
苫小牧市	○	○	○	○	○	○	○	○（プラ製品含）		○
恵庭市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
千歳市	○	○	○	○	○	○		○		
札幌市	○	○	○	○	○	○	○	○		○
北広島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
函館市	○	○	○	○	○	○		○		
北斗市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

登別市の分別種類が一番少ない

課題②-3　ごみの分別（リサイクル）

選択A（再延命化）、選択B（新設）の共通の取組

①燃やせるごみ　②燃やせないごみ　資源ごみ【③缶・④ビン】【⑤ペットボトル】　⑥有害ごみ　⑦粗大ごみ

プラスチックごみ

分別収集を行いたい

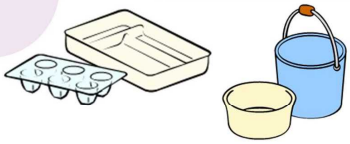
ゼロカーボンシティへの挑戦

ただし、
- 選択A（再延命化）の場合は、収集したプラスチックごみを圧縮、選別、保管する施設が必要となる。
- プラスチック新法で定められた方法には、収集方法や再商品化方法などに課題も多く、現在、環境省が実証実験を行っている。

紙類ごみ

今まで以上に強化

- 既存の集団資源回収を強化（資源回収団体奨励金の単価増額などを検討）
- 行政施設などでの拠点回収を検討



☑ **生ごみの分別収集は見送り**

ごみ減量化の効果は最も大きいと予想されるが、町内会等との意見交換の結果、賛成意見も一部あったが、ごみステーションの管理の面（違反ゴミや衛生面）や分別の労力の面などで、反対意見が多く、生ごみの分別収集は見送る方向で考えている。

課題③　地域貢献（余熱利用）

選択A（再延命化）

市民プールへの熱供給を継続

燃料代節約額≒2，000万円／年

CO2削減量≒700トンCO2／年

※50年生スギ5万本分の吸収量と同じ二酸化炭素量を削減

選択B（新設）

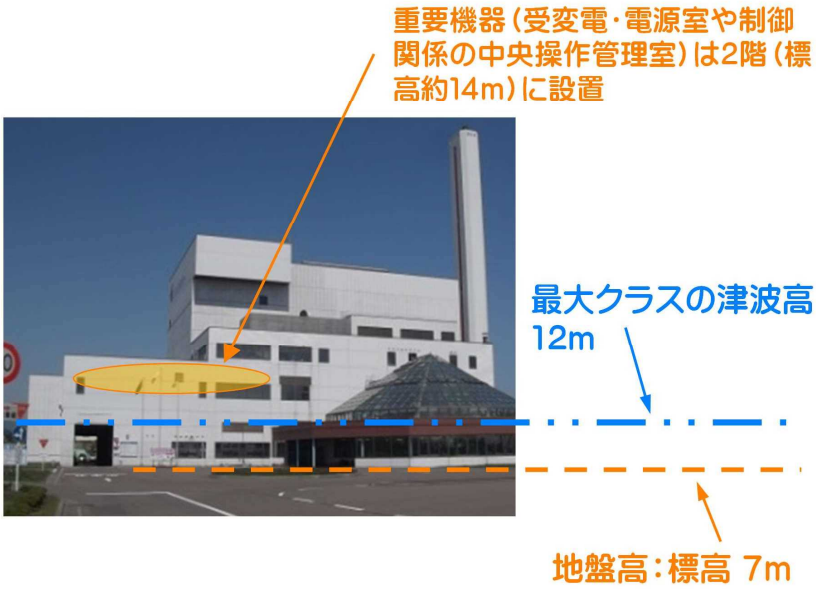
仮に現在のクリンクルセンターの隣接地（旧し尿処理施設周辺）に建設するとした場合でも、距離が遠くなるなど、市民プールへの余熱供給は難しくなる。

↓

自施設内でのみの余熱利用となる見込み

課題④　災害に対する強靭性（津波の場合）

選択A（再延命化）



7m程度の津波には対応可能

選択B（新設）

新施設を高台に建設した場合は津波による影響はない

（参考）
東日本大震災では、沿岸部で津波の影響により、電気・機械設備の破損や水没などで全停止状態となった施設が少なくありませんでした。
また、内陸部でも、地震による排水管・水道管の破損や天井・壁の崩落のほか、地盤沈下などの被害で一時的に休止状態となった施設もありました。

課題⑤　ライフサイクルコスト

選択A（再延命化）

再延命化工事費
（借金返済額）

＋

現施設の
運転維持管理費

＋

プラスチック処理施設の
建設工事費（借金返済額）

＝

合計額（再延命化）

選択B（新設）

建設工事費
（借金返済額）

＋

新施設の
運転維持管理費

＋

市民プールの余熱廃止
に伴う燃料費など

＝

合計額（新設）

＜

10～15億円程度 再延命化が有利

課題⑥　CO2の削減

2022年2月
小笠原市長表明

2050年までに登別市は二酸化炭素排出量
実質ゼロを目指す

ゼロカーボンシティへの挑戦

市域全体の温室効果ガス排出量の削減　※2013年度を100とした場合

2013年度	2018年度	2030年度	2050年度
100	89 △11%	52 △48%	排出を実質ゼロ ※排出量－吸収量 ＝ゼロ

選択A（再延命化）の場合でも、選択B（新設）の場合でも
プラスチックの分別を導入することで
CO2排出量は、現在から5～6割の削減が可能

◆再延命化　約5割削減
◆新　　設　約6割強削減

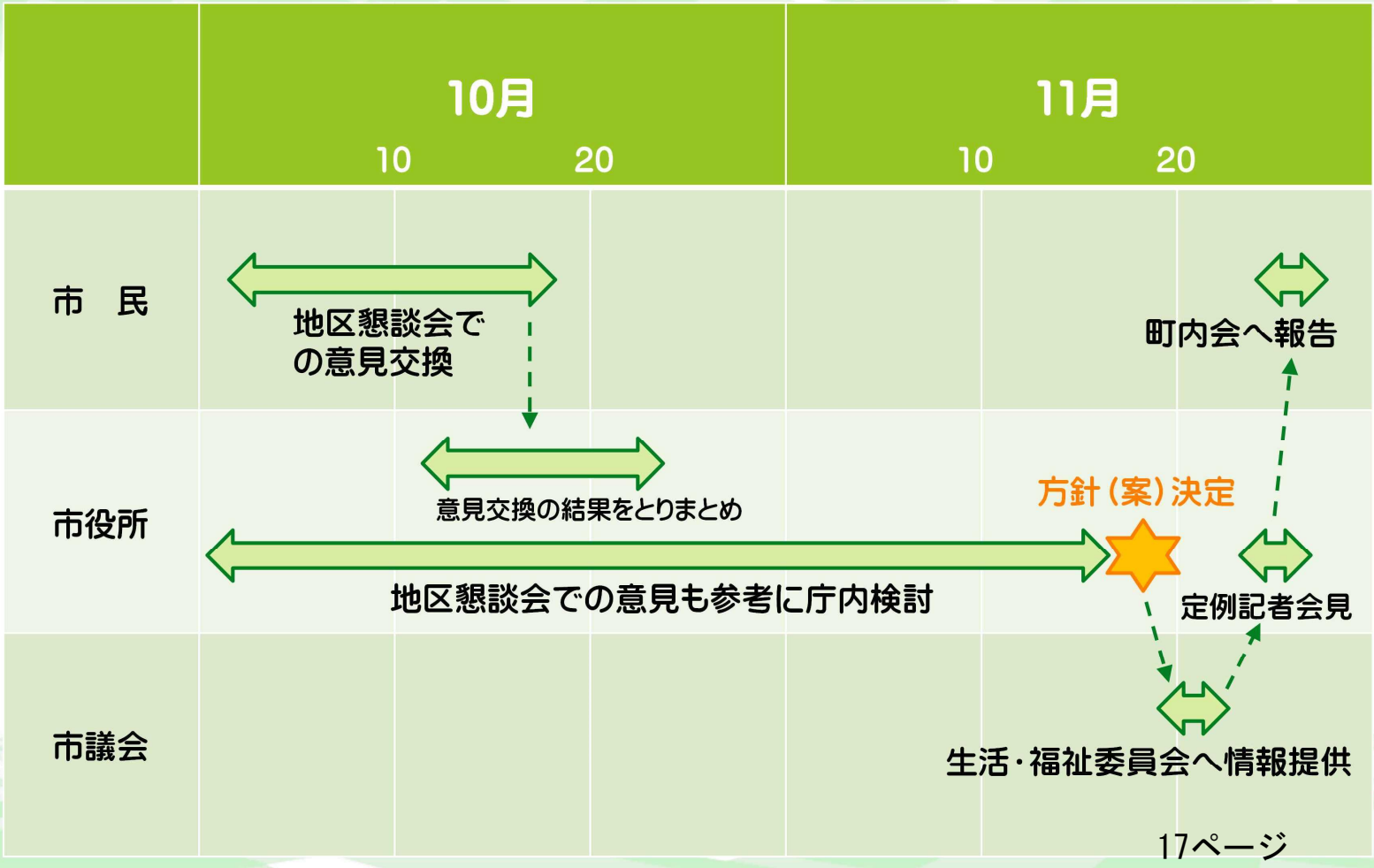
ゼロカーボンシティの実現へ寄与

選択A（再延命化）と 選択B（新設）の比較

	選択A　再延命化		選択B　新　設	
課題① 廃棄物処理の安定性	さらなる長寿命化が可能	○	－	○
課題② ごみの分別	・ゼロカーボンシティ達成のためにはプラスチックの分別収集が必要 ・紙類は既存の取組を強化			
課題③ 地域貢献（余熱利用）	市民プールへの熱供給を継続	○	自施設内での余熱利用を想定	△
課題④ 災害に対する強靭性	7m程度の津波には対応可	△	高台に設置された場合は津波による影響はない	○
課題⑤ ライフサイクルコスト	建設費用等の借金返済額や運転維持管理費などの合計			
	新設に比べ 10～15億円程度経済性で有利	○	－	△
課題⑥ CO2の削減	5割の削減が可能	○	6割強の削減が可能	○
評　価	4.5点※		4点※	

※「評価」は各課題について、仮に機械的に　○を1点　△を0.5点　とした場合を表わしたものです。

市の方針（案）決定と公表のスケジュール



幌別鉄南地区連合町内会　１０月６日（木）	
課題番号１	件名：幸町のすずらんの家の前に放置されている廃棄物の処理について
【課題の内容】 　平成２５年度地区懇談会から撤去について要望していますが、よろしくお願いいたします。	

幌別鉄南地区連合町内会　１０月６日（木）	
課題番号２	件名：防災ハンドマイクの購入費の助成について
【課題の内容】 当地区は海岸線に住宅が建ち並び、津波被害に対しては素早く避難することが課題であります。 登別市連合町内会からの緊急災害時情報伝達の受理後、各町内会においてハイドマイクで役員が周知する仕組みを構築していきたいと考えています。	

登別市民憲章

（昭和43年9月20日制定）

わたしたちは　古い歴史と美しい自然に
恵まれた登別の市民です
ここに　わたしたちの心がまえを定めて
よりよいまちをつくることに努めます

一　心身をきたえよく働いて　活気あふれる
豊かなまちをつくりましょう

一　親切をつくし　きまりを守って　明るく
住みよいまちをつくりましょう

一　自然を愛し　力をあわせて　緑と空気と
太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくり
ましょう

一　未来をつくる青少年の　健全な夢の育つ
まちをつくりましょう

一　教養をつみ　視野を広げて　平和で文化
のかおり高いまちをつくりましょう